

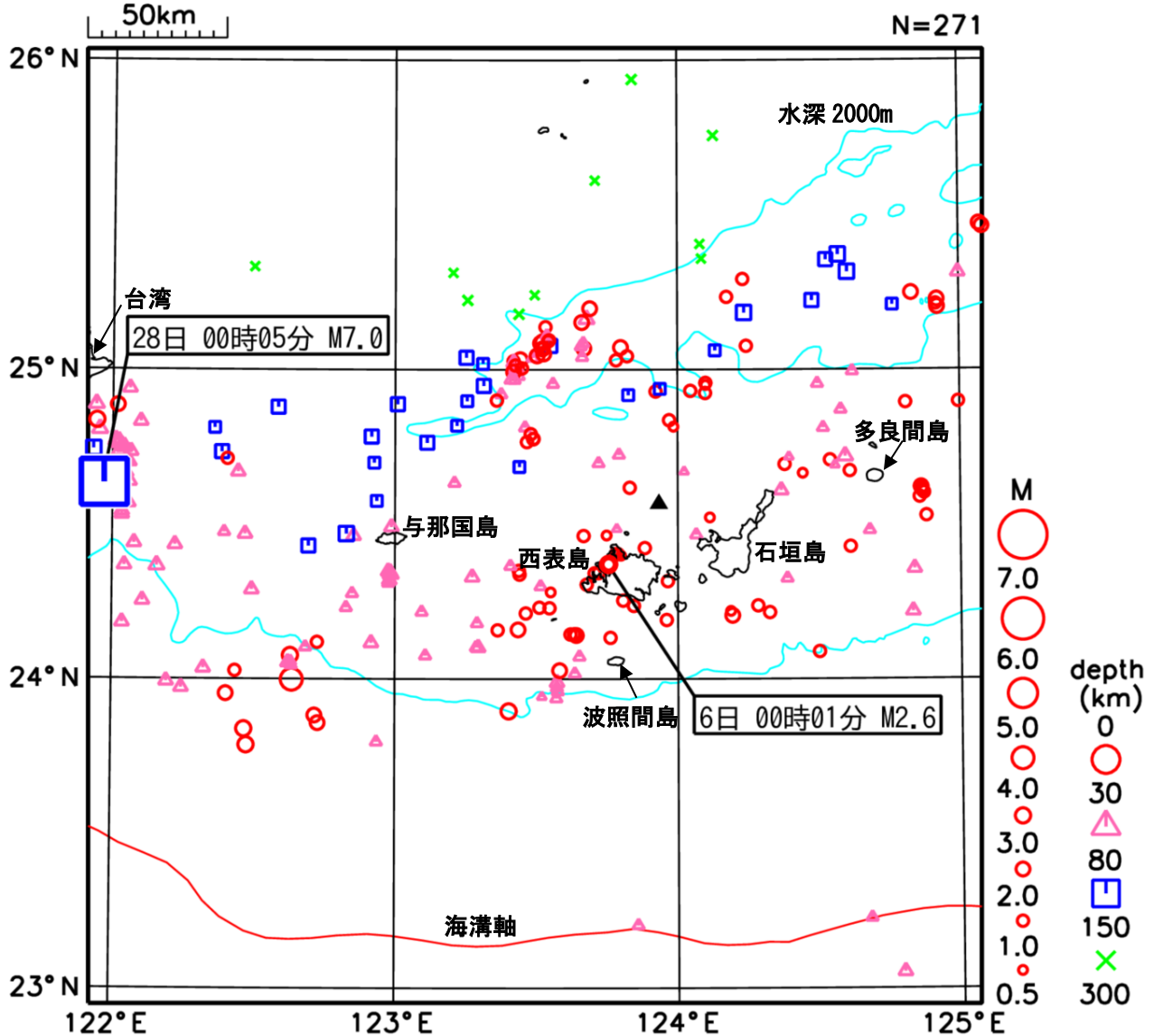
八重山地方の地震活動

令和7年(2025年)12月

石垣島地方気象台

震央分布図

2025 12 01 00:00 -- 2025 12 31 24:00



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ
N : 地震の回数(マグニチュード 0.5 以上の回数です)
▲ : 活火山
八重山地方で震度1以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。
水深 2000mの海底等深線は海上保安庁による

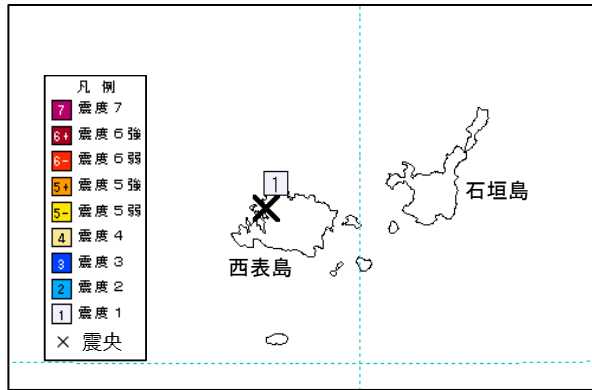
[概況]

今期間(12月)、震度1以上を観測した地震は3回でした(11月は1回)。

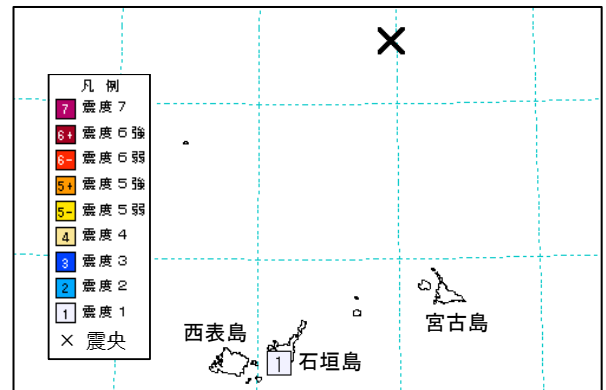
12月の主な活動は次のとおりです。

28日00時05分に台湾付近で発生した地震(M7.0、深さ86km)により石垣市、竹富町(黒島)および与那国町で震度3を観測したほか、宮古島から与那国島にかけて震度2~1を観測しました(次頁、別紙参照)。八重山地方で震度3以上を観測したのは、2025年8月7日に与那国島近海で発生したM5.6の地震(最大震度3)以来です。

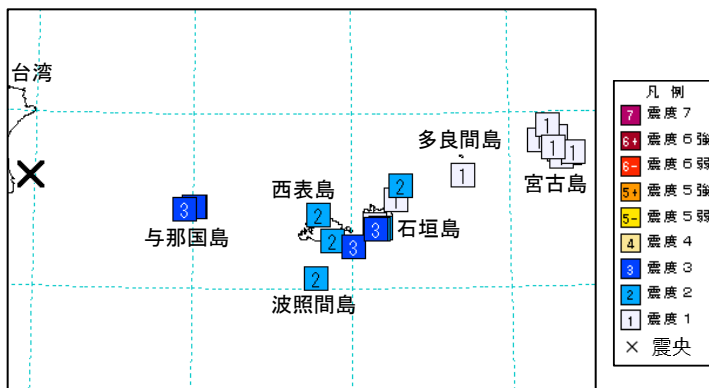
[震度分布図]



12月06日00時01分 西表島付近 深さ11km M2.6



12月19日13時35分 宮古島北西沖 深さ172km M4.9



12月28日00時05分 台湾付近 深さ86km M7.0

八重山地方で震度1以上を観測した地震一覧（期間：12月1日～31日）

震源時	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
各地の震度					
2025年12月06日00時01分	西表島付近	24°22.2'N	123°45.3'E	11km	M2.6
沖縄県	震度1：竹富町上原青年会館＊				
2025年12月19日13時35分	宮古島北西沖	26°24.3'N	124°57.6'E	172km	M4.9
沖縄県	震度1：石垣市登野城, 石垣市新栄町＊				
2025年12月28日00時05分	台湾付近	24°37.9'N	121°58.2'E	86km	M7.0
沖縄県	震度3：石垣市新栄町＊, 与那国町久部良, 与那国町役場＊, 竹富町黒島				
	震度2：石垣市登野城, 石垣市平久保, 石垣市真栄里＊, 与那国町祖納, 竹富町大原 竹富町波照間, 竹富町上原小学校				
	震度1：多良間村塩川, 宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間 宮古島市上野新里, 宮古島市伊良部前里添, 宮古島市平良狩俣＊, 宮古島市城辺福西＊ 石垣市新川, 石垣市伊原間＊				

＊の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※ 資料中のデータについて

国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。

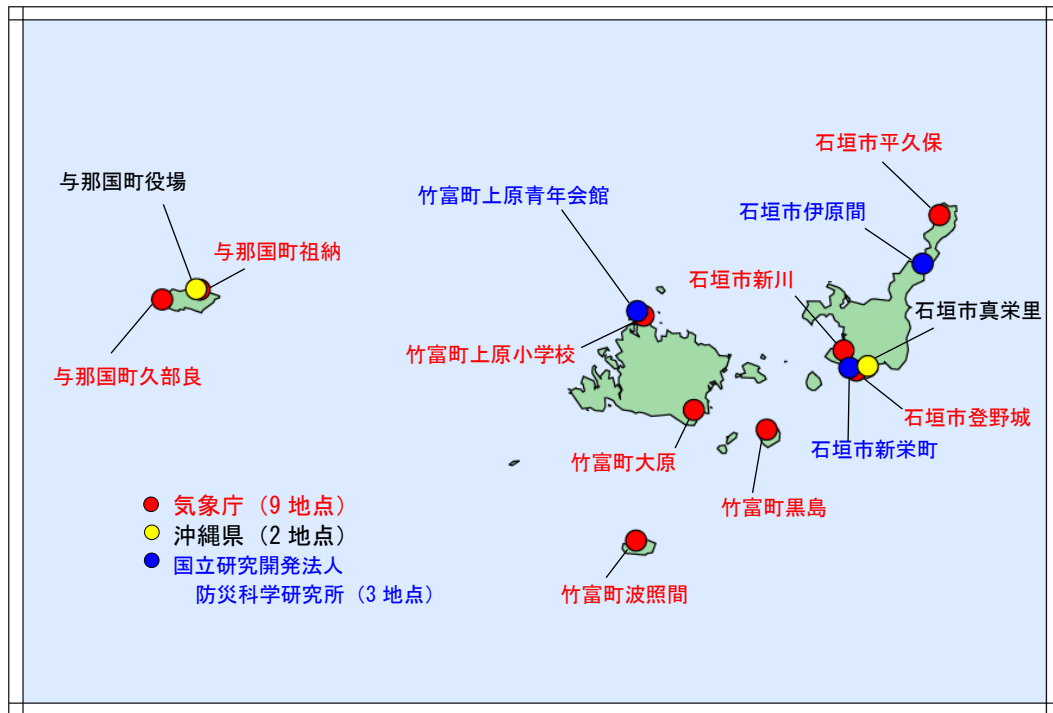
また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

八重山地方の震度観測地点



※過去の地震活動は石垣島地方気象台のホームページで閲覧できます

URL <https://www.data.jma.go.jp/ishigaki/press/jishinkatsudo/jishin.html>

※震度 1 以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」
をご覧ください。

URL <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

本件に関する問い合わせ先 石垣島地方気象台 0980-82-2170

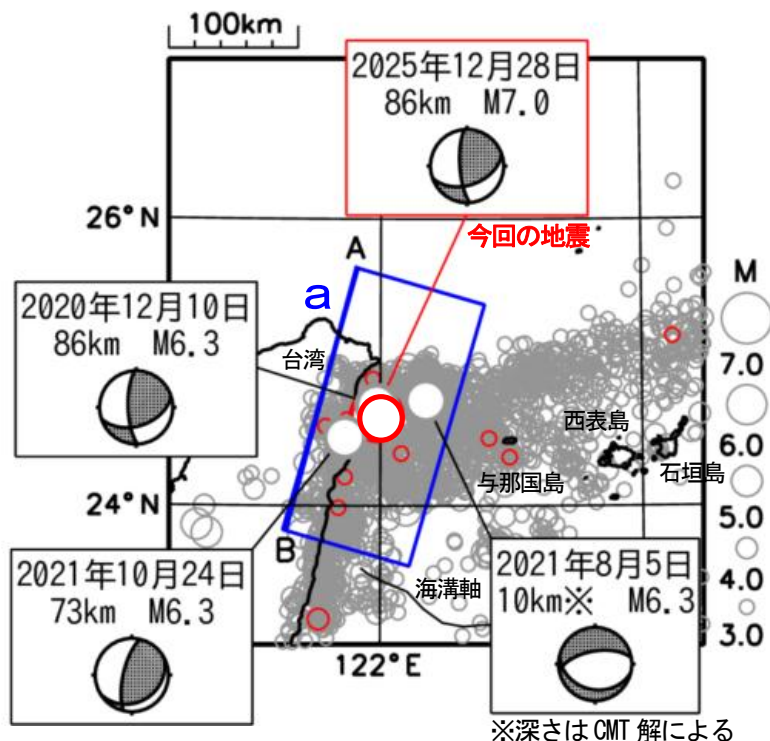


12月28日 台湾付近の地震

震央分布図

(2009年9月1日～2025年12月31日、
深さ40～150km、 $M \geq 3.0$)

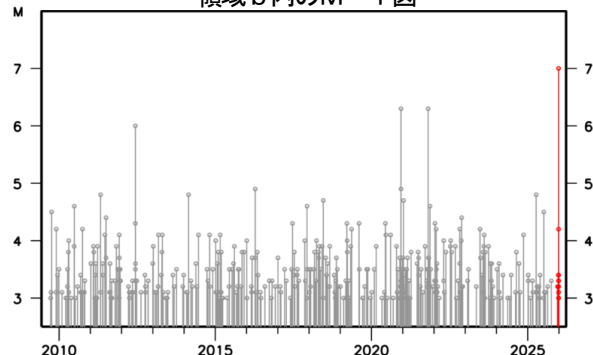
2025年12月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解



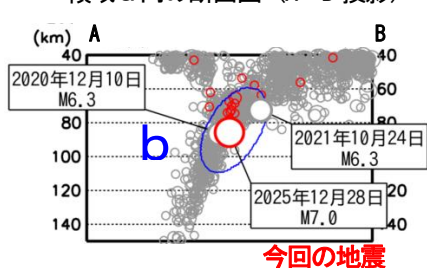
2025年12月28日00時05分に台湾付近の深さ86kmで $M7.0$ の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は、西北西—東南東方向に圧力軸を持つ型であった。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震源付近（領域b）では、2020年12月10日に $M6.3$ の地震（日本国内で最大震度2）が発生するなど、 $M5.0$ 以上の地震が時々発生している。

領域b内のM-T図



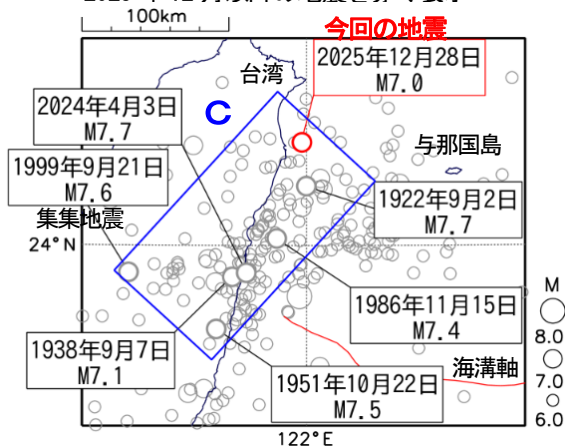
領域a内の断面図（A-B投影）



震央分布図

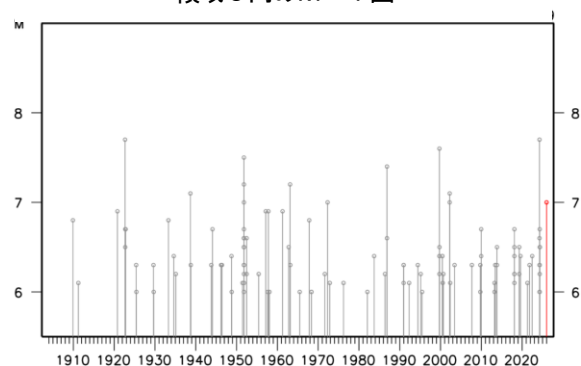
(1904年1月1日～2025年12月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

2025年12月以降の地震を赤く表示



2020年までの震源要素はISC-GEM、2021年以降の地震の震源要素は気象庁による。

領域c内のM-T図



この期間は検知能力が低い

1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、過去に $M7.0$ 以上の地震が時々発生している。1986年11月15日に $M7.4$ の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）により、宮古島平良で30cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人などの被害があった（被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による）。